

# 南アルプスの青少年



毎月 第1日曜日は「家庭の日」

第3日曜日は「青少年を育む日」

## CONTENTS

- 青少年育成南アルプス市民会議の概要 (P2~3)
- 市民会議「各支部だより」(P4~P5)
- 令和5年南アルプス市二十歳のつどい (P6)
- 令和4年度ジュニアリーダー養成研修 (P7)

編集・発行

南アルプス市教育委員会事務局 生涯学習課

TEL: 055-282-7778

FAX: 055-282-6427

MAIL: kshogai@city.minami-alps.lg.jp



## ● 青少年育成南アルプス市民会議の概要

南アルプス市では、青少年の健全育成活動を支援し広げていくための組織として、市民会議の各支部専門委員会や、青少年育成推進員・自治会・育成会・子どもクラブ・学校・PTA等と連携・協働を図り、地域の人材や資源を活かし、地域に根付いた事業、活動を推進しています。

◆ 総務委員会・・・会議運営・イベントや研修会、講演会の開催・広報紙の発行

◆ 青少年委員会・・・あいさつ運動・家庭の日、青少年を育む日の啓発・子ども若者育成支援推進大会

◆ 環境委員会・・・環境点検・危険箇所点検・市内実態調査・愛のパトロール

### 重点目標

- ・ 地域と学校の連携・協働の推進
- ・ 声かけ、あいさつ運動の推進
- ・ 明るく楽しい家庭づくりの推進
- ・ 青少年の社会参加活動の推進
- ・ 安心、安全な地域づくりの推進
- ・ 青少年の非行防止活動の推進

### スローガン

「子どもたちのために できることを  
新しい生活様式の中で  
地域みんなの力をあわせて  
増やしていこう」

### 会長挨拶



青少年育成南アルプス市民会議 会長 名取 大介

### コロナ禍の今、私たち大人にできること

青少年を取り巻く環境は、ここ数年で一変しました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、休校や伝統行事などの中止、マスクの着用で友達の顔を見ることもままならない生活は息苦しいことでしょう。また、GIGAスクール構想が始動したことによる子どものインターネット利用による諸問題についても関心が高まっているかと思います。

その中で、私たちが地域の大人としてできることとは何かということを考え、実行していくことがこれからの青少年健全育成にとって重要なことになってくるでしょう。当市民会議でも、各行事が中止になっていく中で、できることは何かということを考えながらの1年となりました。

先の見えない状況が続いていますが、地域と学校、家庭が連携・協働することで、子どもたちにとってよりよい未来をつくれるような活動に取り組んでいきたいと思っています。

## 青少年育成南アルプス市民会議

### ● 関係する団体および機関

市青少年総合対策本部

市社会教育委員

市青少年育成推進員

市青少年育成会

市子どもクラブ指導者連絡協議会

市連合PTA

市小中学校校長会

市少年補導員連絡協議会

市民生委員児童委員協議会

市スポーツ少年団本部

市保護区保護司会

市女性団体連絡協議会

その他青少年関係団体  
および機関



## ●ラジオ体操講習会

南アルプス市子どもクラブ指導者連絡協議会では、夏休みを前に、指導者である大人が「正しいラジオ体操の動きを身につける」ことを目的にラジオ体操講習会を開催しました。

指導は全国ラジオ体操連盟理事である岡部和子様により依頼し、正しいラジオ体操の動きを知る良いきっかけになりました。



## ●市内一斉あいさつ運動

令和4年10月31日(月)～11月4日(金)

※3日文化の日を除く

青少年委員会を中心に、「青少年を地域で守り育てること」を合言葉に、市内全域であいさつ運動を展開しました。この運動では、「あいさつ」から青少年の健全育成の輪を、地域・家庭・学校で広げていくねらいがあります。みまもりたすきを身に着けて、子どもたちの通学時間帯に合わせ、学校周辺や通学路付近で互いに距離を保ち実施しました。



## ●情報機器教育（インターネットフォーラム）

本市ではGIGAスクール構想を推進しており、子どもたちにとってインターネットはより身近なものとなりました。一方で、子どものインターネット利用についてのトラブルや事件が増えてきているということもあり、地域の大人として、保護者として、どのようにインターネットと付き合っていくかの学習が必要になってきています。

こうした中、山梨県が開催した「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム」に研修会として参加、もしくはYouTubeでのライブ配信を視聴し、問題への意識を高めました。



## ●「家庭の日」「青少年を育む日」作品の募集とWeb掲載

毎年11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせ、夏休みに市内小中学校で募集した「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発作品を南アルプス市ホームページに期間限定で掲載しました。

作品はポスターの部と標語の部があり、1,906点の応募がありました。



## 各支部だより

### 八田支部 世代を超えて ハロウィーンイベント

新型コロナウイルスによる感染拡大のため、イベントの開催が困難な状況の中、下高砂地区では地域の協議体を中心となり、自治会・老人クラブ・育成会の協力でハロウィーンイベントを実施しました。

仮装をした子どもたちが商店や高齢者宅を訪問。地域の人たちとふれあうことで、参加者同士の世代を超えた交流が深まった1日となりました。



### 白根支部 青少年育成講演会

コロナ禍の影響で3年間実施できなかった青少年育成講演会を、2月4日(土) 桃源文化会館で開催しました。今回は、夜だった時間を厳冬とコロナ禍であることから、初の試みとして昼に実施。講師には、県立精神保健福祉センター所長で精神科医の志田博和先生をお迎えしました。今、社会的関心を集め、今後避けては通れない問題として、私たち大人が知っておくべきスマホ・ネット・ゲーム依存の現実についてお話を伺いました。大勢の皆様にご参加いただき、有意義な時間を過ごすことができました。



### 芦安支部 久しぶりのバーベキュー

芦安地区では、冬の BBQ を開催しました。寒空の下ではありましたが、手つかずの自然の中で、子どもたちが自分たちで考えた遊びを自由に行い、久しぶりに保護者間でのコミュニケーションも図れました。遊びたいときに遊んで、休みたいときにお菓子を食べるシステムは、「なにこれサイコー」という声も数多く聞かれました。

芦安の大切な子どもたちの場所を保護者が守って作ることができ、大満足のイベントとなりました。





## 若草支部 若草伝統のみまもり活動



イベントの開催が困難な状況の中、支部実行委員が企画した「鬼面づくり体験」も残念ながら中止となってしまいました。

そのような状況下でも若草支部では、若草地区で始まった活動を継続して広めています。秋に実施した「あいさつ運動」では、「みまもりたすき」を掛けた大勢の地域の方々が主体となって、登校中の子どもたちを見守ってくれました。

## 櫛形支部 食べて、動いて、しっかり寝て！

コロナ禍が続く中、恒例の夏季ラジオ体操が行われました。開催を見送る地区もありましたが、ソーシャルディスタンスにマスクの着用と、感染対策をしながらの取り組みとなりました。二丁目では、櫛形地区食生活改善推進員さんも、健康は「食べることも大切です」と参画し、「早寝、早起き、朝ご飯」の推奨に、パンやバナナが配られました。しっかり食べて、しっかり動いて、しっかり寝る。三拍子揃って心も体も健康になりましょう。



## 甲西支部 甲西支部ラジオ体操全国表彰される

ラジオ体操が開始されて、94年目を迎えます。

多くの人々が世代を超えてラジオ体操を通じ、身近で健康保持に努めていることは、意義あることです。本支部もこの伝統あるラジオ体操を継承しています。甲西支部のラジオ体操講習会も、今年で36回目を迎えました。

本年度甲西支部（小田切雅裕支部長）は、長年の取り組みを評価され優良団体として全国表彰されました。これからも世代間交流を図りながらの健康づくり、地域交流の一つとして継続して行きたいと思えます。



# 令和5年 二十歳のつどい



令和5年二十歳のつどいが、令和5年1月8日アイメッセ山梨にて開催されました。  
11名の実行委員が企画・運営に携わり、無事式典を終えることができました。

## ～実行委員の声～

### 【杉山 彩水 さん 八田中学校出身】

実行委員として式典に携われたことは、とても貴重な経験でした。副実行委員長として、未熟な面も多々あったかと思いますが、多くの方のご尽力があって、式典を無事開催することができたことを嬉しく思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

### 【杉山 翔大 さん 白根巨摩中学校出身】

今回で縁があって実行委員になることになり、SNS 関連の内容に関わりました。人生における節目を祝う式典に、実行委員として立ち会うことができ嬉しい気持ちとともに、とても貴重な経験をすることができました。

### 【五味 彩那 さん 白根御勅使中学校出身】

一生に一度の式典で実行委員をすることができ、思い出になりました。多くの方の協力により、無事に式典を終えられたことをとても嬉しく思います。これから、南アルプス市出身の成人として胸を張れるような大人になれるように頑張りたいです。

紹介しきれない分は市ホームページに掲載予定です、是非ご覧ください。





## ● 青少年育成事業

# ジュニアリーダー養成研修

研修生は、地域や学校を超えた仲間と、団体活動を通じて自立・協働・創造を体験的に学習し、地域や学校で活躍できるリーダーを目指しています。

(参加希望者は随時受け付けています。詳細は8ページをご確認ください。)

### 1日野外研修

台風やコロナの影響で8月に予定されていた野外1日研修は10月開催となりました。

今年度は「エコパ伊奈ヶ湖」にて、森に生息している動物の調査をするため、生き物の痕跡を探し、生き物がいそうなところに「センサーカメラ」を設置しました。1月の研修では、センサーカメラに映ったさまざまな生き物を確認することができ、身近にある多種多様な生態系について学びました。

痕跡を探しながら採取した木の实や植物を使用したフォトスタンドも作成し、それぞれ個性のある作品を作ることができました。



### 大人になることへの思い

12月に実施した研修では、「小笠原流礼法」について学びました。また20歳の節目を迎え、1月に記念式典を開催する「令和5年二十歳のつどい」実行委員のために、小笠原流礼法の基本である「心を込めて」菊花結びを制作しました。ジュニアリーダーは、大人になるということへの思いを胸に、実行委員への励ましのメッセージと心を込めて作った菊花結びをプレゼントしました。

「自分たちも二十歳になったら実行委員をやりたい!」という研修生もあり、大人になることについての思いを語り合う場面も見られました。

この菊花結びは、式典当日「胸章」として来賓および実行委員、主催者が身に付け、その様子はライブ配信もされました。





## お知らせ

### ●ジュニアリーダー養成研修事業のお知らせ

南アルプス市教育委員会では、毎年、中学1年生から高校3年生までのジュニアリーダーを募集しています。

#### 目的

地域や学校を超えた仲間との団体活動を通じて、自立・協働・創造を体験的に学習し、地域や学校でリーダーとして活躍できる青少年の健全育成を図ること。



※参加募集は随時行っています。

参加希望の方は、ページ下部のお問い合わせ先へご連絡ください。

### ●国内友好姉妹都市交流事業のお知らせ

南アルプス市では、北海道津別町・東京都小笠原村・石川県穴水町の3つの都市と、姉妹都市協定を結んでいます。

#### 目的

- ・姉妹都市間の友好関係を深めること
- ・異なる地域での体験を通して視野を広げること
- ・外から見た南アルプス市の良さに気づき学ぶこと

**受入れ** 東京都小笠原村（令和5年7月下旬予定）

石川県穴水町（令和5年8月上旬予定）

**訪問** 北海道津別町（令和5年7月下旬～8月上旬予定）

※日程は現時点での予定です。



※やむを得ない事情で、事業の変更、中止場合があります。

お問合せ先／南アルプス市教育委員会事務局 生涯学習課青少年担当 ☎055-282-7778